

# KAGAWAアンバサダーからのお便り ～飛鳥 童さん～



## カナダからの便り

20代後半にポンコツ車で日本列島を旅した旅行記「80日間日本一周『フーテンすってんてん』」（アリス館）が1973年に出版された。処女出版本が話題になった事で、商業デザイナーから絵本作家への転機となった。その後、3年間の欧州諸国放浪の旅を経て、1979年にカナダ東部のトロントに制作の拠点を構えた。1984年にトロント市内にある公園の四季を描いた『Who Goes to the Park』が出版され、初の英語版絵本がいきなり「トロント出版大賞」を受賞した。一般市民には何でもない公園を舞台に多種多様な人種を描写した意外性と、多様文化主義をビジュアルに表現した新鮮さが評価された。一般の文学賞で絵本が初受賞した事で注目され、大賞授賞式の席で審査委員長に「素晴らしい賞をありがとうございました。」とお礼の言葉を伝えた。すると「お礼を言わないといけないのは私達の方です。あなたは素晴らしい才能をカナダに持って来て下さった。ありがとう!」と握手を求められた。その言葉は私の心の奥に響き、新たな創作意欲を注がれた。大賞受賞で市民栄誉賞を頂き、翌年には私の名前が御影石に刻まれ、若者達が集う目抜き通りに敷かれた「文学者名声の歩道」の仲間に加えられた。



▲1985年「トロント出版大賞」発表記者会見にて。アート・エグルトン市長左端）から賞状と賞金を授与される筆者。後列中央は審査委員長。

その後、動物、鳥、海の生物等8冊がカナダ、アメリカ両国で出版された。特にアフリカ・ケニヤへ出掛けて3週間テント生活で取材をして完成させた動物の絵本は、アメリカ中部のカンザス州ミネハ小学校から「アメリカで出版された最高絵本賞」に選ばれ、手作りのメダルとファンレターが届いた。その縁で同校との交流が続き、2年後に学校の先生から「貴方を私達の学校にお迎えする為に教師、生徒、親達が体育館に古本を持ち寄って販売し、お迎えする準備が整いました。」の手紙と共に往復の航空券が同封されていた。思いがけない招待状に胸が熱くなった。数週間後、カンサス州へ出かけたところ、空港の到着ロビーには「Welcome Mr. Aska!」「We Love Your Books」と大きな手描きのポスターを手にした生徒、先生、親たちの熱烈な歓迎を受けた。午前と午後に各クラスで絵の授業を受持ち、夕方は体育館で親達が持ち寄った手作り料理で歓迎夕食会を催してくれた。食後、生徒全員がステージで「さくらさくら」を日本語で歌ってくれ、最後に担任のハーシュ先生が「私の教師生活36年間で、今日が最良の日でした」と目に涙を浮かべながら挨拶し、私に大きなハグをして下さった。一冊の絵本が遠いアメリカの小学生達との出会いに繋がり、一生の思い出となる素晴らしい時間を共有でき、作家冥利に尽きた。



▲ミネハ小学校の先生、生徒、親たちの熱烈歓迎を受ける（ウィチタ空港到着ロビーにて）



▲体育館で生徒と記念撮影。ハーシュ先生（後列右端）と筆者（前から2列目中央）

1997年1月、高円宮妃久子殿下から「氷山が北極から南極まで旅する物語を書いたので、絵を描いて下さらない？」と国際電話を受けた。何の予告もなく突然の電話だったので即答できず戸惑っていると、妃殿下は物語の内容を一時間近く詳しく説明して下さいました。それでも物語の内容を掴む事ができなかったので取り敢えず物語をじっくり読ませて頂きたい旨を伝えたところ、10分後に15枚の英文原稿がファックスで届いた。北極から南極まで地球全体が舞台で、自然環境への大切なメッセージが感じられたので制作を引き受けた。高円宮妃殿下とは、私が1995年に東京・新宿伊勢丹で20数年振りの日本展を開催した時、故高円宮殿下と3人の女王殿下お揃いで来て下さり、それが最初の出会いだった。



▲高円宮両殿下と3人の女王殿下（東京新宿伊勢丹展会場にて）  
右から3人目が千家国麿氏とご婚約なされた典子女王殿下の小学生時代

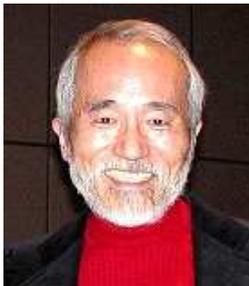
絵の制作に先駆けて物語に登場する海洋生物を観察、スケッチをする為にカナダの北極圏・バフィン島へ貨物船で出掛け、3週間の取材をした。調査、取材、制作に約一年間費やし、翌1998年に『氷山ルリの大航海』が日・英両国語が同時出版された。出版記念会は日本語版が東京・赤坂のカナダ大使館。英語版はニューヨークのカーネギーホールに高円宮両殿下ご臨席のもと、オーケストラとヨーヨー・マ、サム・ウォーターソン（俳優・朗読）等が出演して音楽、映像、朗読の「氷山ルリの大航海・コンサート」が催された。



▲2014年8月、名古屋中日劇場で開催された『冰山ルリの大航海』コンサート後、出演者との懇親会の席で高円宮妃久子殿下(前列中央)と筆者(前列左端)

「冰山ルリ」は現在15カ国で出版され、日本でもミュージカルやコンサートとして上演され、広い観客層に自然環境保護のメッセージを届けている。瀬戸内海に「冰山ルリ」が漂流する姿をイメージしながら、郷土出身の音楽家、朗読者、瀬戸フィルハーモニー交響楽団等が共演すれば、今までにない新しい試みのコンサートが生まれそうな気がする。実現する事を願って。

カナダ・トロントより 飛鳥 童



### 飛鳥 童 (あすか わらべ) さん

アーティスト・絵本作家。カナダ・トロント在住。  
KAGAWA アンバサダーを平成 16 年 3 月 22 日に委嘱。

高松市出身。代表作の一つ「冰山ルリの大航海」は、15 カ国で出版、ミュージカル上演もされている。2013 年にトロント日本国総領事より「日本とカナダの友好・親善に寄与」したことにより表彰を受ける。

#### ☆KAGAWA アンバサダー事業について

香川県の名誉大使として、海外で広く香川を紹介していただいたり、県の活性化のために経済、観光、文化など幅広い分野で、情報提供や提言などをしていただいたりする事業です。

#### ☆KAGAWA アンバサダーからのお便りについて

県民の方々に KAGAWA アンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されている KAGAWA アンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。